

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 164-8701
 住 所 東京都中野区中野四丁目3番2号
 氏 名 株式会社 丸井
 代表取締役社長 青木 正久

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社丸井		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市高津区溝口1-4-1ノクティ2		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,580	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

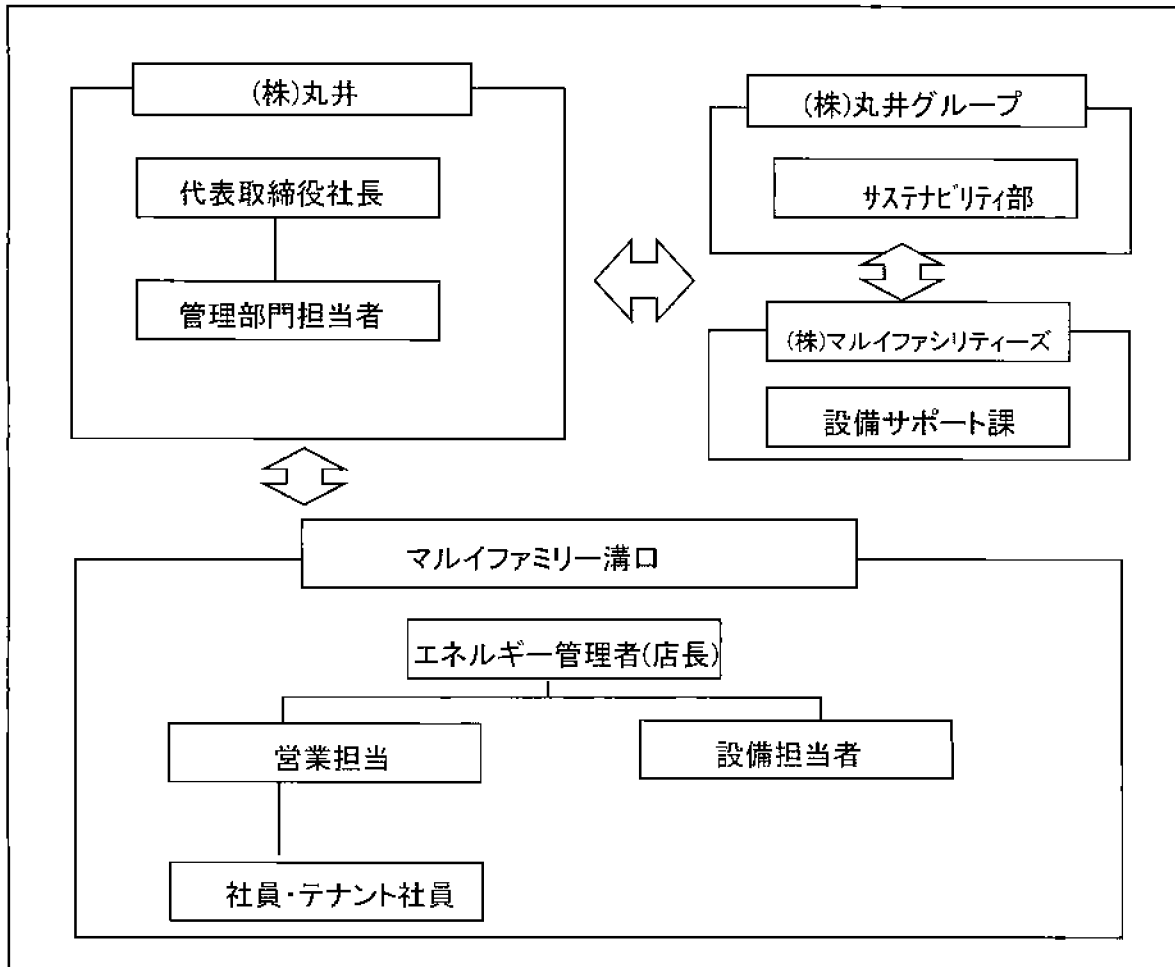
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- ◎市の温暖化対策の主旨を理解し、企業として自主的に地球温暖化対策を推進する。
- ・推進体制を整備し、目標を明確にした上で、負荷低減策を検討し対応する。
- ・2019年度に2Fフロアー使用電力分のグリーン電力証書購買を予定、温室効果ガス削減を推進。
- ・2025年度までに使用電力を再生可能エネルギーへ変更し、RE100やSBTの目標を達成する。
- ・環境配慮型商品・サービスメニューの提供、廃棄物の削減等
- ・市内事業所においては、市の事業活動地球温暖化対策指針を踏まえて対策メニューを実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ◎省エネ対策の効果分析と進捗確認を徹底
- ・関連担当者への「事業活動地球温暖化対策計画書」の内容説明
- ・「事業活動地球温暖化対策計画書」の確実な実行
- ・関連担当者との対応状況進捗管理ミーティングの実施
- ・アセスメントの実施、分析結果に応じた省エネ余地の抽出と次年度以降の対策立案

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基 準 年 度		2018				年度
目 標 年 度		2021				年度
基 準 排 出 量	(実)	6,678		(実)		
	(調)	6,535	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目 標 排 出 量	(実)	6,478		(実)		
	(調)	6,339	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削 減 量		(実)	200 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	200 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削 減 率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量					
原 単 位 の 単 位					
基 準 年 度 の 値					
目 標 年 度 の 値					
削 減 率		%		%	

ウ 目標設定に関する説明

◎省エネルギー法を参考に、エネルギー使用量前年比99%を中長期的に継続する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス総量削減を目指すにあたり、エネルギー使用量を前年比で1%以上削減することを前提として目標として設定。継続的な削減を推進する。 ・2019年度に2Fフロアー使用電力分のグリーン電力証書購買を予定、温室効果ガス削減を推進。 ・2025年度までに使用電力を再生可能エネルギーへ変更し、RE100やSBTの目標を達成する。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・売場照明の間引き、機器の間欠運転、設備の運転時間や照明の点灯・消灯時間管理の徹底、外気取入れによる空調負荷低減など省エネチューニングを実施
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	・2025年度までに使用電力を再生可能100%へ変更予定
風力	○	・2025年度までに使用電力を再生可能100%へ変更予定
バイオマス	○	・2025年度までに使用電力を再生可能100%へ変更予定
未利用エネルギー	×	
その他()	×	
その他()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	×
EV、PHV、FCV	×	その他()	×

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	・2019年度に2F707-使用電力分のグリーン電力証書購買を予定
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	・環境配慮型商品・サービスメニューの提供、廃棄物リサイクル率の向上等
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	6.678	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	3.580	KL
--	-------	----

ウ 事業所の数

	1
--	---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
マルイファミリー溝口	神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2	6.678 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂